



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 株式会社B e e X 上場取引所 東
コード番号 4270 URL <https://www.beex-inc.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）広木 太
問合せ先責任者 （役職名）取締役経理財務本部長 （氏名）杉山 裕二 TEL 03-6260-6240
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無（動画配信のみ）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	3,002	18.3	122	△18.7	121	△19.7	82	△22.1
2026年2月期第1四半期	2,538	—	150	—	151	—	105	—

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 81百万円（△22.9％） 2026年2月期第1四半期 106百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	36.66	33.37
2026年2月期第1四半期	47.51	42.69

（注）当社は、2026年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期第1四半期	5,812	3,123	53.1
2026年2月期	5,791	3,095	52.8

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 3,086百万円 2026年2月期 3,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,516	17.8	605	2.1	617	0.1	454	0.3	201.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	2,255,500株	2026年2月期	2,251,300株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	3,080株	2026年2月期	3,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	2,250,255株	2026年2月期1Q	2,228,451株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年3月1日～2026年5月31日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続、為替相場の変動、米国の通商・経済政策動向、中東情勢やウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの長期化などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。情報サービス産業においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）やAI活用の進展、サイバーセキュリティ対策の強化、労働生産性向上を目的としたIT投資需要が引き続き堅調に推移しております。

このような状況下、当社では「AI&デジタルトランスフォーメーション」及び「マルチクラウド」という2つの領域を軸にクラウドソリューション事業を展開しており、SAP社が提供する基幹システムを中心に、顧客企業毎に使用している基幹システムに最適なパブリッククラウドの選定、基幹システムをパブリッククラウド上で最適な状態で利用するためのコンサルティング、クラウド環境の設計・構築、クラウド環境への移行、及びクラウド環境での運用業務の提供を行ってまいりました。また、クラウドソリューション事業においては、クラウドに関する顧客企業からの引合いは増加基調にあります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高3,002,198千円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益122,294千円（前年同四半期比18.7%減）、経常利益121,973千円（前年同四半期比19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益82,491千円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

なお、当社の事業はクラウドソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

（売上高）

当第1四半期連結累計期間におけるクラウドインテグレーションにおいては、中小規模案件の獲得や成長分野であるAI及びデータ分析案件の獲得もありましたが、プロジェクトの開始時期が下期にずれた案件もあり、クラウドインテグレーション売上高は625,944千円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

MSPにおいては、顧客の内製化などの契約見直しによる影響で、MSP売上高は323,697千円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

一方、クラウドライセンスリセールにおいては、新規契約数が順調に増加したことに加え、既存の大型契約の利用料が増加したこともあり、クラウドライセンスリセール売上高は2,052,556千円（前年同四半期比31.9%増）となりました。

（売上原価）

当第1四半期連結累計期間における売上原価は、2,504,237千円（前年同四半期比19.7%増）となりました。

主な内容としては、クラウドインテグレーションにおいて、社内リソースでカバーできない工数を外部の開発リソースで補完したことにより業務委託費が増加しました。クラウドライセンスリセール売上増加に伴うAWS及びAzure等のライセンスの仕入高が増加しました。

（販売費及び一般管理費）

当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は、375,666千円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

主な内容としては、人的資本への投資を積極的に実行したことにより、販売部門の人件費及び採用に係る費用が増加しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、5,812,608千円となり、前連結会計年度末から20,910千円の増加となりました。

当第1四半期会計期間末における流動資産は、5,541,278千円となり、前連結会計年度末から20,565千円の増加となりました。主な内容としては、現金及び預金が439,766千円、契約資産が140,168千円減少した一方で、売掛金が193,692千円、前払費用が304,265千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、271,330千円となり、前連結会計年度末から345千円の増加となりました。主な内容としては、無形固定資産が852千円及び投資その他の資産が396千円減少した一方で、有形固定資産が1,594千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,688,903千円となり、前連結会計年度末から7,340千円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、2,688,903千円となり、前連結会計年度末から7,340千円の減少となりました。主な内容としては、契約負債が80,630千円増加した一方で、買掛金が94,396千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,123,704千円となり、前連結会計年度末から28,251千円の増加となりました。主な内容としては、剰余金の配当を計上した一方で、当第1四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が26,284千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね想定どおり推移しているため、2026年4月14日の「2026年2月期決算短信」で公表いたしました数値から変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,634,052	2,194,285
売掛金	1,785,535	1,979,228
契約資産	331,267	191,098
前払費用	767,705	1,071,970
その他	2,152	104,695
流動資産合計	5,520,712	5,541,278
固定資産		
有形固定資産		
建物	37,825	37,825
減価償却累計額	△16,090	△16,795
建物（純額）	21,734	21,029
工具、器具及び備品	104,906	110,930
減価償却累計額	△77,883	△81,648
工具、器具及び備品（純額）	27,023	29,282
その他	1,252	1,510
減価償却累計額	△536	△753
その他（純額）	716	756
有形固定資産合計	49,474	51,068
無形固定資産		
ソフトウェア	122,074	117,255
ソフトウェア仮勘定	77	4,044
無形固定資産合計	122,152	121,299
投資その他の資産		
繰延税金資産	33,438	33,438
敷金	65,879	65,513
その他	41	10
投資その他の資産合計	99,358	98,961
固定資産合計	270,984	271,330
資産合計	5,791,697	5,812,608
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,502,405	1,408,008
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	57,618	47,861
契約負債	610,912	691,542
賞与引当金	-	30,861
受注損失引当金	293	467
その他	325,014	310,159
流動負債合計	2,696,243	2,688,903
負債合計	2,696,243	2,688,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	328,794	330,228
資本剰余金	393,919	395,352
利益剰余金	2,337,518	2,363,802
自己株式	△2,638	△2,797
株主資本合計	3,057,593	3,086,586
非支配株主持分	37,859	37,118
純資産合計	3,095,453	3,123,704
負債純資産合計	5,791,697	5,812,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
売上高	2,538,164	3,002,198
売上原価	2,092,952	2,504,237
売上総利益	445,212	497,960
販売費及び一般管理費	294,728	375,666
営業利益	150,483	122,294
営業外収益		
受取利息	-	0
為替差益	537	72
受取手数料	900	-
雑収入	350	193
営業外収益合計	1,788	266
営業外費用		
支払利息	434	587
営業外費用合計	434	587
経常利益	151,836	121,973
特別利益		
負ののれん発生益	1,578	-
特別利益合計	1,578	-
特別損失		
固定資産売却損	85	-
特別損失合計	85	-
税金等調整前四半期純利益	153,330	121,973
法人税、住民税及び事業税	47,302	40,222
四半期純利益	106,027	81,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	△741
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,879	82,491

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
四半期純利益	106,027	81,750
四半期包括利益	106,027	81,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,879	82,491
非支配株主に係る四半期包括利益	148	△741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年3月1日 至2025年5月31日)

当社グループは、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年3月1日 至2026年5月31日)

当社グループは、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及び負ののれん発生益は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
減価償却費	15,561千円	16,293千円
負ののれん発生益	△1,578千円	-千円